



野鳥の 不思議解明 最前線 #87

文 植田睦之

© Japan Bird Research Association, 2013

巣材を運ぶシジュウカラ *Parus minor*。彼らも煙草のフィルターを巣材にすることがあるが、同様の効果があるのだろうか？
撮影●内田博

煙草は子の健康に良い？

～吸殻を巣材に使うと寄生虫が減るイエスズメとメキシコマシコ～

年末、同世代の友人達と飲む機会が何度かありました。男四十を超えると、色っぽい話題はめっきり減り、自分の不健康自慢そして加齢臭の話題が増えてきます。体臭は気になるけれど悪いことばかりではありません。以前ロシアに行ったとき、体臭のきつさに応じて、蚊の寄ってくる数が減ることに気づきました。一番臭いのきついロブコフさんのまわりに蚊は無し。あのころぼくは若かったから蚊が集まってきたけど、いまならもうチョイましかな？

さて鳥も虫除けに臭い(?)を使います。針葉樹やハーブの葉などを巣材にすることで寄生虫を避けられていると言われています。ところがこうした自然素材だけでなく、都会の鳥は煙草をそのために使っているのでは、という研究があったので紹介したいと思います。

この研究をしたのはメキシコの Suárez-Rodríguez さんたち。彼らはイエスズメ *Passer domesticus* やメキシコマシコ *Carpodacus mexicanus* が好んで煙草のフィルターを巣材にしていることに気づきました。なんと80%以上の巣で巣材として使われていたそうです。たくさんのフィルターが使われている巣と、ちょっとだけの巣があるので、それぞれの巣内の寄生虫の数と比較してみると、使われているフィルターが多くなると、寄生虫が少なくなることがわかりました。さらに煙草を吸ったあとのフィルターと吸っていないフィルターに対する寄生虫の反応を調べてみると、煙草を吸ったあとのフィルター

を寄生虫が避けることがわかりました。これは寄生虫はフィルターそのものではなく、ニコチンなどの煙草成分を忌避していることを示します。どうも、鳥たちは煙草の吸殻を巣材に使うことで、巣内の寄生虫を減らすことができているようなのです。

では、鳥たちはこの効果がわかってフィルターを利用しているのでしょうか？それとも獣毛が少ない都会でフィルターを代替物とした結果、偶然、この効果を得ることができたのでしょうか？獣毛とフィルター、喫煙前と後のフィルターを鳥に選ばせる実験をしたら、そのあたりのことが見えてくるかもしれません。なお、アオガラ *Parus caeruleus* は寄生虫の忌避成分の強い巣材と弱い巣材を匂いで判別していることが知られています (Petit et al. 2002)。

ところで、煙草は発癌性があることも知られています。フィルターならヒナに影響はないのでしょうか？それとも短命な鳥にはそうしたリスクは低いのでしょうか？寄生虫が減るといっても、そこもちょっと心配になりますね。

紹介した論文

- Suárez-Rodríguez, M., López-Rull, I. & Garcia, C.M. (2013) Incorporation of cigarette butts into nests reduces nest ectoparasite load in urban birds: new ingredients for an old recipe? *Biology Letters* 9 doi: 10.1098/rsbl.2012.0931
- Petit, C., Hossaert-McKey, M., Perret, P., Blondel, J. & Lambrechts, M.M. (2002) Blue tits use selected plants and olfaction to maintain an aromatic environment for nestlings. *Ecology Letters* 5: 585–589.